

地域材の使用量にエコポイント！

林野庁が平成25年度予算に地域材の利用量に応じたエコポイント付与を検討しています。鹿児島県はこのモデル事業に参加を表明しました。

この制度は昨年のアフリカ・ダーバンにおける環境会議において、京都議定書第一約束期間が終わり、2013年から第二約束期間が始まる際に、森林の炭素固定に関する新たな評価方法を採択することが決められました。第一約束期間では、森林は伐採された時点でCO₂排出とされていましたが、第二約束期間では、森林から搬出された木材から生産された木材製品については、廃棄されない限りCO₂排出とはせず、森林と同じように炭素固定として評価するという事です。したがって、住宅等への木材利用による炭素固定機能を評価し、温暖化対策に活用できるようになりました。さらに、この評価は国産材のみに限定されています。これまで外国からの圧力があり、国産材利用のみに限定した木材利用振興制度は難しいでしたが、今回は炭素固定という大義名分のもと、国産材振興に寄与できるエコポイント制度として検討しています。鹿児島県ではこのエコポイントで県産の木製品や農水産物との交換を考えているようです。地域振興の原動力となれば良いですね。

杉は米松よりも強い！ほんど？

一昨年の口蹄疫問題、昨年の新燃岳噴火と災害の続いた宮崎県が元気に復興に頑張っている姿を全国に発信しようと「第47回全国木材産業振興大会」が宮崎市で行われました。基調講演で前宮崎木材利用技術センター所長・東京大学名誉教授 有馬孝禮先生の「なぜ、いま、スギなのか」という基調講演がありました。有馬先生はマウスの実験で生活環境には木材、特にスギが好い事を紹介されると同時に、機械等級区分（ヤング率区分）や目視等級区分の2,3級ではスギの方が米松より強いとデータを示されました。また、公共建築物における木材利用は、行政、設計、施工、そして施設を管理する人たちが「木を使う」という共通認識の下、「木の常識」の見方を変えていくことが必要といろいろ例示されました。

【情報】

「鬼に訊け」という映画があります

千年先にいのちを繋ぐ 宮大工西岡常一の遺言

期間 11月16日(金)~30日(金)

場所 マルヤガーデンズ 7F (Tel 299-222-8746)

「第9回 地杉の集い」が行われます

「スギの道を歩く旅、屋久島」「木育のすすめ」等のセミナーが下記日程で開催されます。

日時 11月23日(金)~24日(土)

場所 屋久島環境文化村センター 他

問合せ先 屋久島大屋根の会 Tel 0997-42-0138

【定休日】

11月は3, 4, 10, 11, 18, 23, 24, 25日となります

12月は3, 4, 10, 11, 18, 23, 24, 25日となります

宜しく願います。

(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)

